
あの場所で....。

英子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あの場所です…。

【Nコード】

N2576Z

【作者名】

英子

【あらすじ】

オリジナルです！拓斗×秋葉（幼なじみ）の話です。

(前書き)

オリジナルに挑戦です。

俺、福崎拓斗は、幼なじみの米原秋葉と大喧嘩した。

「何よ！拓斗のバカ！！」

秋葉は泣きながら、自分のカメラを投げてきた。

秋葉…、誤解だつて。

お前が撮った写真の中に写っている女は、ただのバイト仲間だつて言っているのに…

つたく…、どうして女はみんなこうなんだろう…？

その時、俺はあることに思い付いた。「なあ、秋葉？」

「…、何よ…？」

いまだに怒っている秋葉を、無理やり俺のバイクに乗せ、あの場所まで連れていった。

「ちよつと！拓斗つたら！！一体どこへいくの！？」

俺の後ろでキャンキャン言っている秋葉を無視して、俺はただ、バイクを走らせていた。

着いた場所は…。

「拓斗、ここつて…」

「そうさ…、俺たちが初めて出会った場所だ。」

小さいとき、よく俺がお袋と遊んだ砂浜だ。たまたま、一人で泣いて歩いている女の子を俺が見つけた。ハンカチで秋葉の涙を吹いたっけ…？

「おれは、ふくぎきたくと！よろしくね！」

俺の自己紹介に、秋葉は笑顔で返した。

「あきは！わたしは、まいばらあきはっていうの！よろしくね！」
お互い握手をしたのだ。

昔のことを思い出していたら、急に喧嘩していたのが馬鹿馬鹿しく感じた。

秋葉を見たら、秋葉も同じだったらしく…。

「帰ろうか…」

俺たちは再びバイクに乗り、都会へと帰っていくのだ。

俺たちはまた、あの場所で仲直りしてしまった。

(後書き)

意味不明で、すみません…(、、;))

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2576z/>

あの場所で...

2011年12月9日02時10分発行